



# 標識トランプを活用した 段階的リハビリテーション課題の 開発と効果

桔梗ヶ原病院

松塚翔司, 佐藤理恵, 中山諒太, 深澤聰志, 園原和樹



2025年11月29日

第9回 日本安全運転医療学会学術集会



## 背景

『標識トランプ』とは、数字・マークに加えて標識が表記されたトランプである。

当院では、2023年から『標識トランプ』をリハビリテーション課題として使用している。

今回、段階的トランプリハビリテーション課題（以下、トランプリハ）について報告する。

# トランプリハの目的と特徴

## 【目的】

自動車運転に必要な〈正確性〉，〈情報処理速度〉，〈マルチタスク〉の3要素を改善することである。

## 【特徴】

①難易度設定に基づき，段階的にリハビリテーションを開することで，セラピストによらず患者に統一した訓練を提供できる。

②机上課題で課題提示の難しいマルチタスク訓練が可能である。

# トランプリハの使用方法と期間

※計算課題とTMT課題は通常トランプを使用

	正確性	情報処理速度	マルチタスク
計算課題			
TMT課題			
標識名称			
スピード			
タッピング			
期間	OT・ST × 20分/約7日	OT・ST × 20分/約7日	OT・ST × 20分/約7日

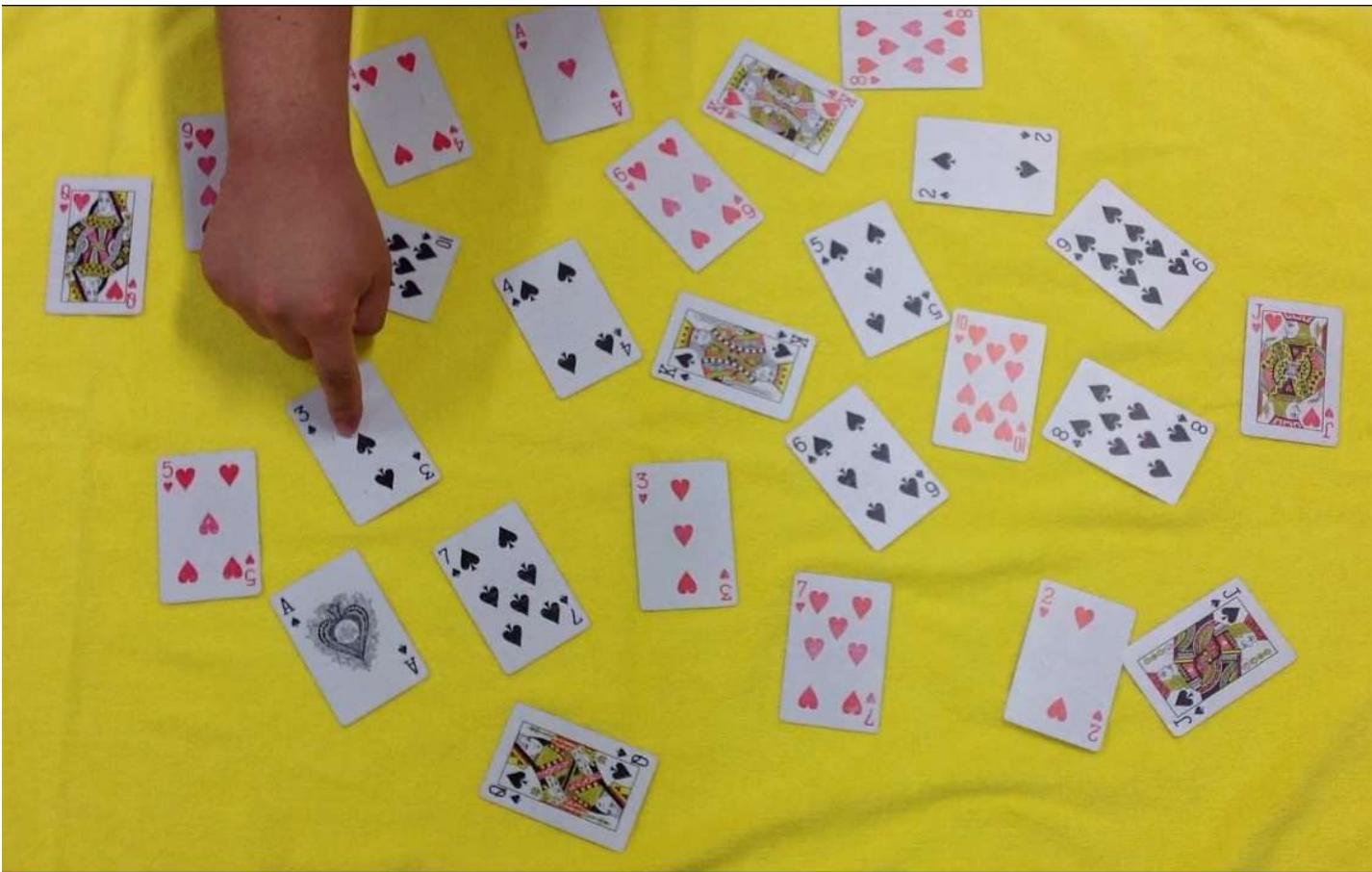
# トランプリハの難易度設定 〈正確性①〉



【計算課題】  
数字の1~9を使用する

足し算のみ  
↓  
色で分岐  
↓  
マークで分岐  
↓  
(+  $\alpha$ ) マークで分岐

# トランプリハの難易度設定 〈正確性②〉



【TMT課題】

黒と赤の1～13使用  
順番に指す



黒・赤1～13使用  
黒1-赤2-黒3…



黒・赤1～13使用  
赤1-黒1-黒2-赤2…

# トランプリハの難易度設定〈正確性③〉



車両通行止め

車両（自動車・自転車・原動機付自転車・バイク）は通行することができない

2



歩行者専用

歩行者のみ通行することができる（車両・自転車は通行することができない）

3

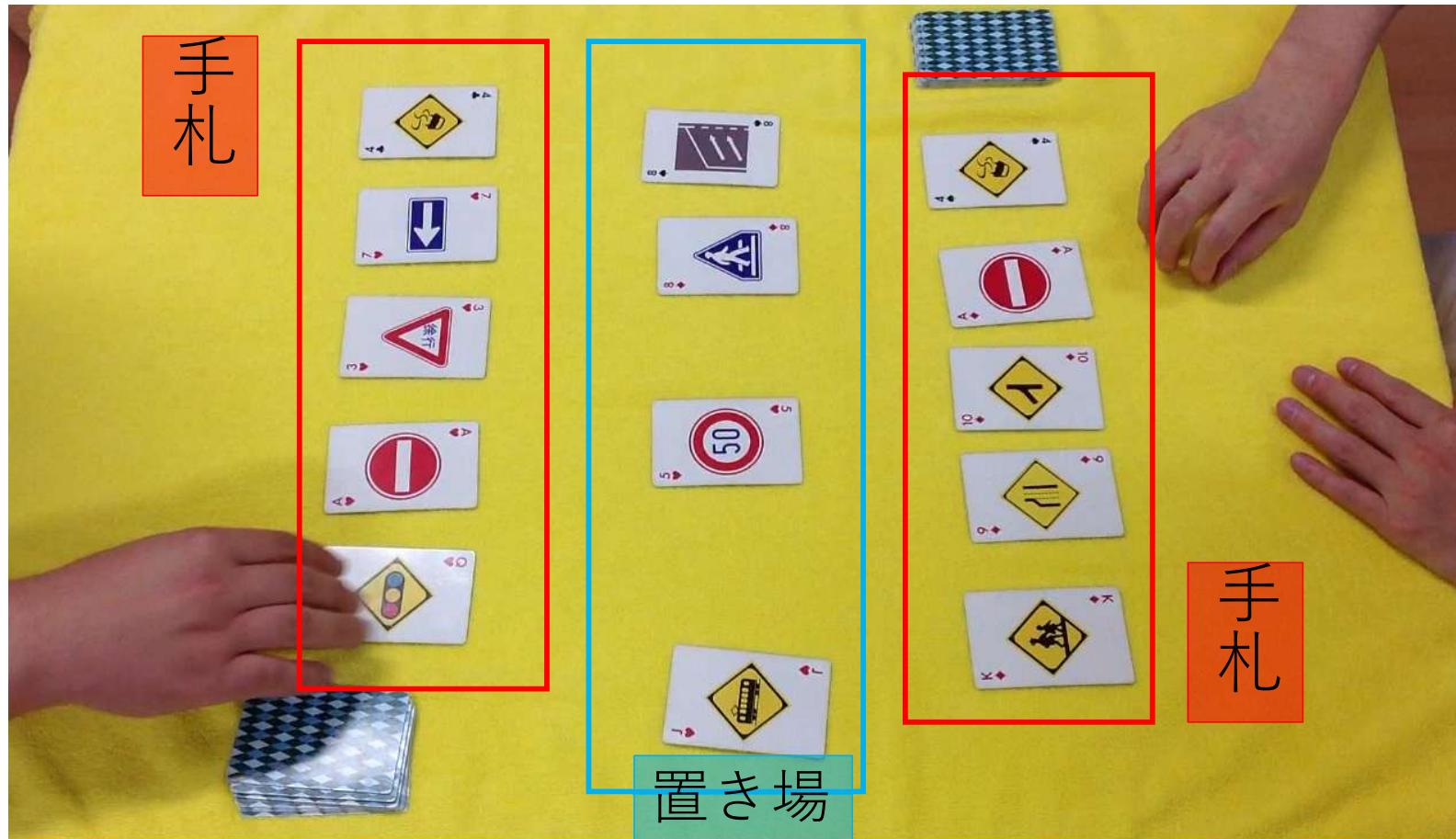


停止禁止部分

車両は標識に示された領域の中で停止してはならない（警察署・消防署などの緊急車両の出入り口に設置される）

J

# トランプリハの難易度設定〈情報処理速度〉



【スピード】  
赤・黒で分ける  
置き場2・手札4  
↓  
赤・黒混在  
置き場2・手札4  
↓  
赤・黒混在  
置き場3・手札4  
↓  
赤・黒混在  
置き場4・手札5

# トランプリハの難易度設定〈マルチタスク〉



【タッピング】

奇数・偶数に分ける  
標識の名称・意味を言う



奇数・偶数に分ける  
標識の名称・意味を言う  
色タッピング



奇数・偶数に分ける  
標識の名称・意味を言う  
マークタッピング

## 結果と考察

対象者への実施結果では、全例が最終段階まで到達可能であり、難易度設定の妥当性が示唆された。

# 結語

トランプリハは、運転に必要な注意機能や処理能力の向上が期待でき、運転リハビリテーションの実施期間の短縮につながる可能性がある。